

三 一般的斗争方針……産業別統一……

崩壊の許夜に立つ日本資本主義の攻勢は愈々その酷烈さを極めて極端なる労働強化とインフレ政策に於ける背後的攻撃は実質的な賃銀三割の引下と成り労働階級の生活は今や餓死線迄に押し結られて来た。  
千九三一年滿洲事変を契期として起れる大衆のファツシヨ化と非常時の名の下に押潰され互動社会情勢に於ける猛襲を攻勢の前に屈服し、一部敗北者は日本主義国家主義に敗退合流し資本階級の便衣隊として無産階級を克勢し其斗争を反らさんとしてゐる。

No 15

本年六月ジュネーヴに開かれ十八回國際労働会議に上程されるソシアルダンピング問題に日本労働組合会評幹部諸君は政府資本家學者各代表の円卓会議でワシントン三條約束批准促進運動を試みなければならぬと提言し、いたすらに我が国の低銀を隠さんことに級々としてゐる。

No 16

斯る御用団体の裏切と支配階級の弾圧を蹴てプロレタリアートの斗争力を好果的に遂行すべくその大衆的組織形態は經濟斗争の機關たる労働組合に於て労働者階級の共通な經濟的利害の一致点を以て基準的